

第6章 事業の現状と将来展望

6.1 技術者の養成

環境測定分析の多様化、高度化が一層加速するなか、技術者のレベルアップと人材の確保等の重要度が増している。より多くの研修の機会を捉えて技術者の養成を実施していくことが重要であり、どの事業者においても優秀な人材の育成・確保は継続的な課題となっている。

技術者の養成方法について、2018年と同じく「日環協が行う研修会、講習会への参加」、「日環協以外の関係団体が行う研修会、講習会への参加」、「学会等技術発表会への参加」、「社内研修プログラムに沿った研修等の実施」、「同業他社との交流（技術面、人材面を含む）」、「海外視察や技術研修セミナーなどへの参加」、「環境測定分析士、環境騒音・振動測定士の受験」、「事業として書籍の購入」、「eラーニングの利用料金の補助」、「資格試験受験料等の補助」、「資格取得の試験補助及び報奨金の授与（環境計量士を含む全般）」、「資格取得の試験補助及び報奨金の授与（環境測定分析士に対して）」、「資格手当の支給（環境計量士を含む全般）」、「資格手当の支給（環境測定分析士に対して）」、「その他」の15種類の選択肢を用意した。その中で回答は、該当するものを全て選ぶ内容（複数回答）となっている。

アンケートの集計結果を表6.1-1に示す。回答の内容は、回答数の多い順に記載し、比率(%)は有効回答事業者数に対する当該回答数の割合である。